

## 夏休みが明けて

9月1日(月)、44日間の長い夏休みが明けて学校が再開しました。久しぶりに登校してくる子供たちを校門前で迎え、あいさつをすると、ひと回り大きく成長した子供たちが元気にあいさつを返してくれました。

夏休み期間中は、おかげさまで大きな事故や怪我・病気の連絡はなく、子供たちは楽しい夏休みを過ごせたようで安心しました。ご家庭と地域の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。

今年の夏休みも昨年以上に猛暑の夏休みでした。熱中症警戒アラートが毎日のように発表されたため、思うように外遊びができなかったのではないのでしょうか。学校に遊びに来る子供もほとんどおらず、校庭の雑草が伸び放題になってしまっていました。

また、8月10日には大雨(土砂災害)警報・洪水警報が発表され、怖い思いをされたかたも多かったのではないかと思います。

様々な災害がいつどこで起こっても不思議ではない時代になってきていますが、学校は、常に子供たちにとって「安全な学びの場」「夢を実現するための成長の場」であり続けるよう、9月からもしっかり取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

## 朝会 ~ シェイクアウト訓練

登校再開初日の1日(月)、朝会を行いました。当初の予定では体育館に全校が集まる形を考えていたのですが、この日も気温が高く「酷暑」が予想されていたので、エアコンの効いた各教室で聞く「放送朝会」の形に変更しました。

夏休みの振り返りを簡単にした後、9月1日は「防災の日」なので、関東大震災の話をしました。当時の資料から、この曾我地区でも多くの家が一瞬でつぶれてしまったこと、曾我山の木々も倒れ、えぐられるように山肌が露出したことなど、被害の大きさ・恐ろしさを、子供たちにわかりやすい言葉で伝えました。

102年前の話ですが、過去の話として終わらせるのではなく、万が一に備えて、防災意識を高める機会にしてほしいと思いました。

その後、さっそく「シェイクアウト訓練」を行いました。

3時限目が終わった11時頃、突然「訓練、訓練」と放送が校舎に響き渡りました。予告なしだったので驚く子供もいましたが、みんなしっかりと机の下に隠れて、頭を守る体勢をとることができていました。



## 稲作プロジェクト

本校では毎年、地域の方々のご協力をいただきながら、5年生が中心となって稲作を行っています。

夏休みに入る前までは、毎朝、当番がどろんこ田に行き、稲の様子などを観察・記録していたのですが、夏休み中はそれができなかったため、子供たちは「稲はどんなふう成長したのだろうか。」「病気になるっていないかな?」「穂は出たかな?」「害虫は寄ってきていないかな?」と心配していました。

9月になって確認したところ、カメムシやイナゴ・バッタなどが多く見られたため、5年生は「9/19(予定)の稲刈りまでに、できることは何かあるだろうか?」と話し合いました。

インターネット等で調べ、害虫駆除のために「(害虫のすみかである)まわりの草を刈るといい。」「虫取り網で捕まえる。」「焼き肉のたれを薄めたものを撒くと効くらしい」など、様々なアイデアを出し合いました。





どちらかというと大人しい印象の学年だったのですが、授業が進むにつれ、徐々に活発な話し合いになっていく様子を見て、とてもうれしくなりました。

稲作活動は、お米だけでなく、子供たちも大きく成長させてくれています。



## 児童代表委員会

10日・11日の2日間、昼休みの時間を使って、代表委員会が開かれました。今回の議題は「運動会を盛り上げよう。」でした。

ほとんどの協議事項が円滑に決められていく中、ひとつだけ、なかなか決まらない議案がありました。それは、児童会と体育委員会が主導で行う「なかよし班種目」（児童会種目）についてでした。全校でしっぽとりゲームのような鬼ごっこをするということ自体は賛成多数で決まったのですが、なかなか決まらなかったのは、そのルールです。

ある子が、「低学年はすぐに捕まっちゃうから、高学年（の鬼になった人）は、低学年を狙わないような何かルールを作ったほうがいい。」と発言しました。低学年のことまでちゃんと配慮できていて、とてもすばらしい意見だと感心しました。



「複数の鬼が同時に狙わないというルールを作ったら？」など、いろいろなアイデアが出る中、6年生のある子が、「高学年は、普通に低学年に配慮できるから（わざわざ）ルールを作らなくても大丈夫だと思う。」と言いました。ふだんから自然に低学年のことを気遣い、配慮しながら接している高学年だからこそ言えること。「すごいなあ。」と、ただただ感心し、「曾我っ子」のよさを改めて実感しました。

「配慮してあげるから大丈夫だよ。」「優しいお兄

さんお姉さんだから大丈夫。」

信頼関係の上に成り立っている子供たちの世界が、とても尊く感じられました。

話し合いは、翌11日も行われましたが、いまだ結論は出ず、継続審議中。。。

子供たちがどんな運動会を創り上げるのか、とても楽しみになってきました。 乞う ご期待！



## 不審者を想定した防犯訓練

10日（水）、「校内に不審者が入ってきた」という想定で、小田原警察署生活安全課防犯少年係のかたにご協力いただきながら、防犯訓練をしました。

校内を歩き回る人にどのように声をかけるのがよいのか等、職員もいくつかアドバイスをいただき、実践力を高めることができました。

子供たちは素早く教室のドアに鍵をかけ、机などの物陰に隠れて姿を見られないように、じっと身を守る行動ができていて、防犯少年係のかたからも「子供たちの対応がとてもよかった。」と、お褒めの言葉をいただきました。

実際に起こらないでほしいことですが、万が一に備えて、防犯意識を高めていく必要性を感じた訓練でした。



## 曾我小学校の開校記念日

9月15日は曾我小学校の開校記念日でした。

明治12年（1879年）、曾我小学校の前身「下大井小学校」ができてから何度か名称を変えながら、昭和34年（1959年）、現在の『小田原市立曾我小学校』になりました。「下大井小学校」の誕生からかぞえて、今年で146年になります。

（給食調理室の前の廊下に、詳細を掲示してありますので、ご来校の際は、ぜひご覧ください。）

多くの方々に愛されてきたこの曾我小学校をこれからも大切に、また、曾我小学校に通っているということを誇りに思ってもらえるように、曾我小学校を、素敵な教育活動の場にしていきたいと思っています。



旧校舎（昭7～昭49）



完成当時の現校舎（昭50～）